

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市水とみどりの審議会				
事務局 (担当課)		水みどり環境課 電話042-769-8242(直通)				
開催日時		平成30年3月5日(月) 14時00分～16時35分				
開催場所		相模原市立環境情報センター2階 学習室				
出席者	委員	9人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	9人(環境共生部長、水みどり環境課長、公園課長、他6人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 (1) 公園内の樹木管理計画について (2) 次期相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性さがみはら戦略について 3 報告 相模原市緑化条例の改正に係る答申について 4 その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 議題

(1) 公園内の樹木管理計画について

事務局による説明の後、質疑応答を行った。

適正な配置計画を考えていくに当たり、造園の専門家をアドバイザーに入れる予定はあるのか。

外部の専門家に入っていただくことは考えていない。公園課には、造園職や樹木医の資格を持つ職員もいることから、今回は、公園課内で策定する予定である。

大きな木というのは、見ていて良いものだなという気持ちもあるので、危ない木をしっかりと見定めて、片付けていくというようにしていただきたい。

名称が維持管理計画ということで、樹木を切る方に力が入っている印象をお持ちになったかもしれないが、公園の中の樹木を良い状態で感じていただくために、切るものは最低限とし、基本的には残す方向で取り組んで生きたい。

地元の同意は、どのように得るのか。

すべての樹木については困難だが、当該公園のシンボリックな樹木については、一定期間お知らせをするなど、同意を得る方策についても、計画の中で考えていきたい。樹木を切る指針を明確にすることが、今回計画を作る大きな目的の一つになっている。

安全・安心の観点については、どのように考えているのか。

公園管理者としては、来園者の安全・安心を優先したい気持ちも強いが、公園のみどりが好きで来園される方がいることも当然承知している。良いバランスをどこで保つかということが、非常に大事になってくる。

樹種の選定はどのように行うのか。

過去の経過や公園課内の造園職等の知見を活用しながら、適正な配置の観点も含めて、選定に努めていきたい。

樹種の選定では、生物多様性の視点から、在来の種類に限定するというのも一つの考え方である。

参考にさせていただきたい。

この計画の対象は、今ある公園だけでなく、今後新たに作る公園も含まれているのか。

含まれている。

安全管理の面では、点検を行うことが重要である。公園の管理業者やボランティアの方々の協力により枯れ枝点検を行うなど、点検体制を検討していただきたい。

現在、公園の管理業者から、遊具等の点検と合わせて、枯れ枝等の点検の報告をしていただいているところであるが、公園の利用者やボランティアの方々へ協力を依頼することも検討していきたい。

市の木はケヤキだが、合併した旧4町の木はモミジであった。その点にも配慮していただきたい。

地球温暖化対策の観点から、樹木量とCO₂の削減量を結び付けるのも面白いのではないか。

参考にさせていただきたい。

(2) 次期相模原市水とみどりの基本計画・生物多様性さがみはら戦略の策定について事務局による説明の後、質疑応答を行った。

現行の水とみどりの基本計画の基本目標はそのまま、中身だけを変更するのか。

課題が生じているものなどについて、必要に応じて見直しを行う予定である。

今後、みどりの実態調査や生物相調査の途中経過が審議会に諮られるのか。

これらの調査は業者委託で行う予定であるが、調査の途中段階で報告があったものなどについては、必要に応じて情報を提供していきたい。

みどりの実態調査の調査箇所はどの程度なのか。

市内全域である。毎回、市街化区域や市街化調整区域等を合わせて、市内全域の針葉樹林や広葉樹林の面積などを調査している。

生物相の調査における希少種の取扱いについては、調査結果は内部資料にとどめ、外部からはあまり情報にアクセスできないように制限した方が良い。

参考にさせていただきたい。

庁内での会議と審議会との関わりは、どうなるのか。

庁内の策定会議やワーキング会議に計画案を出し、課題等を検討した後、その結果を審議会に諮ることを考えている。審議会でもいただいたご意見については、庁内の会議にフィードバックさせ、計画案を良いものにしていきたい。

農政の観点から、イノシシやシカなど非常に軋轢がある動物種について、どのようなスタンスで臨むのかということも、生物多様性の保全にとって重要なことである。次期計画に書き加える必要があるのではないか。

農政の観点についても、さらに計画に盛り込んでいきたい。

動物の愛護の点についても、議論した方が良いのではないか。

少子高齢化に対応した目標とあるが、具体的なイメージはどのようなものか。
たとえば、環境活動団体の高齢化が進む中で、新たな担い手を増やしていくと
いったことが挙げられる。

そのような点では、猟友会員の減少という問題がある。大型動物の駆除に対し
ては、猟友会が機能している。

生物多様性に関する教育について、動物に対して可愛いとか綺麗だということ
だけではなく、我々は命をいただいて生きているということへの理解を深めてい
かなければいけない。少子高齢化に対応することは、重要なことである。

事業の自己評価について、128の事業の9割が継続したいとなっているが、
一定の効果を得られているというものは4割程度である。このあたりを分析する
と、計画をどう変えていけばいいのかという部分が見えてくるのではないか。

今後、細かい分析を行い、次期計画に反映させていきたい。

3 報告

相模原市緑化条例の改正に係る答申について
事務局から、報告を行った。(質疑なし)

4 その他

事務局から、次回の会議日程等について説明した。

以 上

水とみどりの審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	田淵 俊人	玉川大学農学部 教授	会長	出席
2	南 正人	麻布大学獣医学部 准教授		出席
3	吉永 龍起	北里大学海洋生命科学部 准教授		出席
4	鈴木 千景	公募委員		出席
5	秋永 真里子	特定非営利活動法人境川の斜面緑地を守る会 理事		出席
6	飯塚 裕美	特定非営利活動法人みどりのお医者さん		出席
7	熊谷 達男	「小松・城北」里山をまもる会 副会長		出席
8	高橋 孝子	特定非営利活動法人相模原こもれび 理事長	副会長	出席
9	野尾 睦彦	相模原商工会議所 3号議員 (東京ガス株式会社神奈川西支店 支店長)		出席